

進路指導部だより

2023年3月号

3年生（44期生）進路状況

3月13日現在

	男子（人）	女子（人）	計（人）
4年制大学	27	11	38
短期大学	2	10	12
専門学校	26	36	62
就職	24	28	52
その他	3	11	14
43期生卒業生数	82	96	178

2年生

①進路希望登録

3学期の進路別ガイダンスを通してそれぞれの進路を考え、進学と就職の希望登録を行いました。春休み中にもう一度よく考え、また保護者ともいろいろ話し合ってください。もし進路希望を変更するということがなれば、新学期すぐに、必ず新担任に相談してください。

②進学希望者へ

進学先を決めていくにあたって、オープンキャンパスに参加することはとても大切なことです。必ずオープンキャンパスに参加してください。なお、新型コロナウイルスの影響によりオープンキャンパスに参加できない場合は、オンライン型のオープンキャンパスに参加する、志望校のホームページを見て情報を収集するなどしてください。

③学校紹介就職希望者へ

3学期のガイダンスにおいて、「就職試験では、第一印象が非常に重要」と何度も話しましたが、4月から始まる本格的な就職指導では、身だしなみについてより厳しく指導していきます。ですから、この春休み中に「就職試験では第一印象が非常に重要」ということを思い返して、心の準備をしておいてください。

もし、春休み中に学校紹介就職から進学へ変更することになった場合は、必ず始業式当日に新担任に申し出てください。

④日本学生支援機構の奨学金（進学後に貸与または給付される奨学金）の予約申込みについて

日本学生支援機構の奨学金は、進学先に入学してから正式に申込みをし、早ければ進学後の5月から貸与・給付が始まるものです。高校在学時に予約をすることで、進学後の貸与・給付が約束されます。利用を少しでも考えている人は、必ず申し込んでください。

予約に必要な書類は、高校を通して日本学生支援機構に提出することになっていますので、申込みを考えている人は必ず校内の説明会に参加する必要があります。説明会は4月後半を予定しています。新学期が始まってすぐに説明会の案内のプリントを配付しますので、そこで予定を確認してください。保護者向けの説明会も実施する予定です。

⑤受験合格後、在学中に必要なお金について

本校の3年生の多くは2学期中に進学先が決まるのですが、ほとんどの学校で合格通知後、1週間から10日の間に、入学金および前期の授業料（おおよそ100万円前後）の入金を求められます。

しかし、日本学生支援機構の奨学金を高校在学中に利用することはできません。そのため、入学金やその他の費用は、各家庭で用意する必要があります。ですから、入試の日程だけでなく手続きの日程もよく見て、いつまでに、いくら用意しなければならないのかを、早いうちに確認しておいてください。

また、入学金やその他の費用を用意する手段としては、「国の教育ローン」や「近畿ろうきん」の教育ローン等があります。これらは学校を通さず直接金融機関に申込むものです。ホームページや電話相談等で1学期中に検討しておいてください。

1年生

3学期に行われた「職業別ガイダンス」を通して、将来どんな職業に就きたいのかということを考えるきっかけになったのではないかと思います。

また、この春休み中はそれまでの進路学習の内容を振り返って、自分の進路についていろいろと考えてみたり、調べてみたりしてください。そうすることで、進路を決めていくためには何をすればいいのかが見えてくると思います。

実力考査について

4月11日（火）に実力考査を実施します。それに向けて、事前学習教材「One-Week トライアル」を進路からの課題として出します。春休み中に、必ずこの教材に取り組んで実力考査に臨んでください。また、この課題の提出日は実力考査当日です。必ず提出してください。

なお、この教材の取り組み方については、教材と一緒に配付されたプリント『春休み課題「One-Week トライアル」について』に書いてありますので、よく読んでから取り組んでください。